

FUKAYA News Release

市長定例記者会見次第

令和3年4月27日（火）
午前10時30分～

1. あいさつ

2. 発表内容

ページ

（1）【地域通貨普及への新たな一歩】

地域通貨導入戦略の策定・地域通貨『ネギー』の一般販売開始

1

（2）【アグリテックビジネスコンテスト】

『DEEP VALLEY Agritech Award 2020』最優秀賞受賞企業への出資等

2

（3）【栄一翁の藍づくり～芽吹く、ふるさとへの思い～】

『青天の藍の種』の栽培を通したふるさと教育

4

（4）【『渋沢栄一翁の原点・深谷』にご招待】

『深谷大河ドラマ館』に県内小・中学生を無料招待

5

3. 次回日程 定例記者会見

会場：市長公室

日時：令和3年5月26日（水）午前10時30分～11時30分

地域通貨普及への新たな一歩
地域通貨導入戦略の策定・
地域通貨『ネギー』の一般販売開始

■概要

地域内経済循環の向上と地域課題の解決を図り、地域一丸となって持続可能な地域経営を実現していくことを目的とした『地域通貨導入戦略』を策定しました。この戦略により、地域通貨の導入目的や今後の方向性について、市民や市内事業者への理解促進を図ります。

また、地域通貨『ネギー』が日常的に利用できる一般販売を開始します。

■地域通貨導入戦略

- ・策定期期
令和3年4月
- ・概要
別紙『地域通貨導入戦略（概要版）』参照
- ・今後について
行政課題解決のモデル事業について、庁内公募を実施。

■地域通貨『ネギー』一般販売

- ・販売開始時期
令和3年4月28日（水）から
- ・購入方法
アプリによるクレジットカードチャージ（カードタイプは準備中）
- ・販売金額
2億円販売（購入上限額なし、1,000円単位）
- ・利用期間
購入時から2年間
例）令和3年5月1日購入 ⇒ 令和5年4月30日まで利用可能
※追加購入の場合、利用期間は再購入日から2年間
- ・購入メリット
利用時に利用額の1%をポイントとして付与
例）10,000negi利用 ⇒ 100negiを付与
※ポイント有効期限は最終利用日から90日

■問い合わせ先

深谷市役所産業振興部 産業ブランド推進室 ☎048-577-3819

アグリテックビジネスコンテスト 『DEEP VALLEY Agritech Award 2020』 最優秀賞受賞企業への出資等

■ 概要

『DEEP VALLEY Agritech※ Award（ディープバレーアグリテックアワード）』は、儲かる農業都市の実現のため、深谷市だけでなく、日本中が抱える農業課題を解決する技術（アグリテック）を表彰する取り組みです。

この度、令和2年度の最優秀賞受賞企業へ出資や協定書の締結を行いました。

今後、各企業と関係性を構築しながら、共に地域の農業課題解決に向けた取り組みを進めていきます。

※農業（Agriculture）とテクノロジー（Technology）を組み合わせた造語で、テクノロジーを活用した革新的な農業のこと。



【株式会社レグミン】



【AGRIST 株式会社】

■ 出資先及び金額等

- (1) 株式会社レグミン（埼玉県深谷市上柴町西 7-16-16）

代表取締役 成勢 卓裕 ※現場導入部門受賞企業

【事業内容】自律走行型ロボットによる自動農薬散布

→ 令和2年8月から実証実験を開始し、
令和4年4月にサービス提供開始予定

出資金額：990万円

- (2) AGRIST株式会社（宮崎県児湯郡新富町富田東 1-47-1）

代表取締役兼最高経営責任者 齋藤 潤一 ※未来創造部門受賞企業

【事業内容】農業の人手不足を解決するキュウリ収穫ロボット

→ 令和3年秋からロボット開発を開始し、
令和4年4月以降、実証実験開始予定

アグリテック協定書の締結

■ 問い合わせ先

深谷市役所産業振興部 産業ブランド推進室 ☎048 - 577 - 3819

農林水産省の『スマート農業実証プロジェクト』に採択

■ 概要

本市主催の『DEEP VALLEY Agritech Award2020』で最優秀賞を受賞した株式会社レグミンを中心とする、『深谷市露地野菜スマート農業実証コンソーシアム』の提案が国の令和3年度『スマート農業実証プロジェクト』に採択されました。

市は、コンソーシアムメンバーとして、共に本取組を推進していきます。

【「スマート農業実証プロジェクト」について】

ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用した『スマート農業』を実証し、スマート農業の社会実装を加速させていく事業で、スマート農業技術を実際に生産現場に導入し、2年間にわたって技術実証を行うとともに、技術の導入による経営への効果を明らかにすることを目的としています。

■ 実証内容

露地野菜栽培における自律走行型ロボットを活用した農薬散布及びリモート圃場カメラを活用した遠隔農地の状況確認の技術導入により、作業効率化によるコスト削減の実証を行う。



《自律走行農薬散布ロボット》



《リモート圃場カメラによる画像表示システム》

■ 『深谷市露地野菜スマート農業実証コンソーシアム』メンバー構成機関

【代表機関】 株式会社レグミン

【生産者】 有限会社ファームヤード

【共同機関】 ふかや農業協同組合、埼玉県大里農林振興センター、深谷市

■ 問い合わせ先

深谷市役所産業振興部 産業ブランド推進室 ☎048 - 577 - 3819

栄一翁の藍づくり～芽吹く、ふるさとへの思い～ 『青天の藍の種』の栽培を通したふるさと教育

■ 目的等

郷土の偉人 渋沢栄一翁は父親の仕事を手伝い、14歳で藍葉の鑑定ができるようになったと言われています。そこには日々の生活の中で培われた栄一翁の主体的、進取の精神の一端を垣間見ることができます。栄一翁の原点ともいえる『藍』を育てることで、栄一翁を身近に感じ、ふるさとを理解し誇りに思う心を育みます。

■ 概要

NHK大河ドラマ『青天を衝け』のロケ地で栽培した藍の種を市内の市立幼稚園・保育園、小・中学校、希望する高等学校、大学で栽培します。藍の種は、『青天の藍の種』として、各学校の花壇等に植え、『NHK大河ドラマ 青天の藍の種』と記した看板を設置し、大切に育てます。

■ 実施する学校

市内公立幼稚園・保育園、小・中学校
希望する市内高等学校、大学

■ 栽培から収穫の流れ

種まき	4月～5月	葉の収穫	7月～8月
開花	9月～10月	種の収穫	11月

■ 学習への活用

育てた藍は、藍葉の叩き染めや生葉（なまば）染めなどの染め物を行い、種を収穫して各学校で学習に活用します。小・中学校においては、『こども学びスタ in 深谷』の『深谷の心を紡ぐ ふるさと教育に関する展示』にて活動を掲示します。

渋沢栄一翁没後90年、藍を育て、活用する体験を通し、栄一翁の幼いころからの足跡をたどることで、夢と学びのふるさと深谷のよさを知り誇りに思える活動を推進します。

■ 問い合わせ先

深谷市役所教育委員会教育部 学校教育課 ☎048 - 572 - 9578

『渋沢栄一翁の原点・深谷』にご招待 『深谷大河ドラマ館』に県内小・中学生を無料招待

■ 目的等

大河ドラマ『青天を衝け』深谷市推進協議会では、埼玉県内の小中学生を大河ドラマ館に招待することで、渋沢栄一翁の功績及び精神を知ってもらい、郷土愛の醸成を図ることを目的として、小中学生無料招待券を配布します。

なお、この目的に賛同いただいた企業・団体から協賛金をいただいております。協賛金は小中学生の入場料や招待券の配布に充てます。

■ 配布方法・時期

市内の小中学校について先行して配布し、速やかに児童生徒の手元に届くよう対応します。

その後、県内の他市町村の小中学校については、公立校は教育委員会あてに送付、私立校は直接送付することとし、時期は6月を予定しています。

大河ドラマ館は令和4年1月10日まで開館していますので、状況を見ながら利用していただきます。

■ 賛同いただいた企業・団体（順不同）

- ・ 埼玉りそな銀行
- ・ 東京商工会議所
- ・ 埼玉縣信用金庫



【招待券イメージ】

■ 問い合わせ先

大河ドラマ『青天を衝け』深谷市推進協議会（深谷市役所 渋沢栄一政策推進課内） ☎048 - 577 - 5061